

他県視察報告（和歌山県）

1 期日及び視察場所

平成22年9月16日（木） 和歌山県教育委員会、かつらぎ町教育委員会

9月17日（金） 有田川教育委員会、有田川町立吉備中学校、県立海南高等学校

2 視察内容

視 点	内 容
1 「学園構想」による、保・小・中の連携による一貫教育	<p>具体的取組 <有田川町教育委員会></p> <p>① 町内の6つの中学校を中心に6つの「学園」</p> <p>② 「学園」内の保育所・小学校・中学校の連携による0歳～15歳までの一貫教育の推進</p> <p>③ 「学園」を運営する理事会を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校長を学園長とし、関係学校等の校長、PTA会長等を理事 ・学園内の課題解決策や学園としての「育てたい子ども像」の決定 ・保護者や地域住民を巻き込んだ活動の展開 <p>④ 地域との連携を進める情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校要覧集」の作成・配付、教委ニュースの発行 <p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報の共有 ○ ②③により保と小、小と中のスムーズな移行 → 小1プロブレム、中1ギャップの解消 ○ 「地域で子どもを育てる」という意識の高揚、地域住民の教育活動への参加の増加、保護者による学校評価アンケートの提出率の向上
2 学校目標の達成に重点をおいたプロジェクト型の校務分掌	<p>具体的取組 <かつらぎ町教育委員会></p> <p>① 「3月始まりの3月終わり」の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月中に次年度の学校教育目標・学校経営計画を設定 <p>② 「学校評価」→「課題の明確化」→「年間学校目標」→「プロジェクト」の流れ</p> <p>③ 年間プロジェクト（学校教育目標の達成）と短期プロジェクト（中間評価により明らかになった課題対応）を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷小：「豊かな人間性」「確かな学力」「健康・安全」の3つの年間プロジェクトと学校運営委員会を設置 ・妙寺中：短期プロジェクトによる「基礎学力の定着」、若手をリーダーとして育成 <p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ①により4月からの円滑な学校運営を遂行 ○ 短期プロジェクトの設定 → 学校の課題への迅速な対応 <ul style="list-style-type: none"> ・中堅・若手教員を積極的にリーダー活用した人材育成 ○ 教職員の学校運営参画意識の高まり → 目標達成に向け積極的な取組
3 教頭の専決事項の見直しによる校務の円滑化	<p>具体的取組 <和歌山県教育委員会></p> <p>① 全ての教頭に多くの専決事項（複数教頭の場合も序列をつけない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行命令、復命の受理 ・休暇の承認 ・教職員の事務分担 ・生徒の学習指導・生徒指導・進路指導に関する軽易な事項 ・職専免の承認 等 <p>② 分校の教頭のみ専決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分校の施設使用許可 ・異常気象時の教務的対応 ・分校職員の勤務時間割振 <p>③ 分校や校長が常駐しない校舎に公印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管守と押印は教頭の専決事項 <p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校長の機動力の向上 ○ 分校における円滑な学校運営

他県視察報告（岡山県）

1 期日及び視察場所

平成22年9月15日（水） 岡山県教育委員会、津山市立中道中学校
 9月16日（木） 岡山県立邑久高等学校、岡山市立芥子山小学校

2 視察内容

視 点	内 容
1 従来の校務分掌とプロジェクト方式の併用	<p>（具体的取組） <津山市立中道中、岡山市立芥子山小></p> <p>① 調査物、定期的な連絡、確認事項 → 校務分掌分担 ② 行事企画・運営、季節限定業務 → 計画的プロジェクトチーム ③ 問題行動等への対応 → 不定期臨時委員会 ※ 従来の校務分掌や、課題解決に重点を置くプロジェクト方式のどちらにもこだわらず、それぞれの特性を生かす、柔軟な運営組織</p> <p>（成 果） （改善前）儀式的行事は教務主任、体育的行事は体育主任、文化祭は特活主任が原案作成。その後、職員会議にかけて運営のための分担等を決定。 （改善後）委員会で主だった役割分担、コンセプト確認を終え、具体的な動きについて職員会で提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担の明確化 ・ 職員会議の協議は具体的な詰め作業のみ → 会議の効率化 ・ 各行事の精通者の増加 → スムーズな運営 ・ プロジェクトリーダーへの起用 → ミドルリーダーの育成
2 組織力を発揮するための基本レベルの徹底	<p>（具体的取組）</p> <p>① 会議において、司会者が提案者の内容を復唱することを禁止 ② 会議等提案資料の前日配付 <3校とも> 説明の省略・簡略化 <芥子山小・中道中> ③ 「～はどうするんですか。」といった自分の疑問を丸投げする発言は禁止 ④ 代案を持たない反対意見は、発言禁止 <以上2点芥子山小> ※ 組織改編、校務運営見直しの実効性を高めるために必要な校内ルールの設置</p> <p>（成 果） ○ 会議の効率化による、生徒と直接向き合う時間の確保</p>
3 教員負担を軽減する組織づくり	<p>（具体的取組）</p> <p>① 12月に次年度の分掌希望アンケート実施 <芥子山小・中道中> ② 業績評価ヒアリングの校内人事への反映 <芥子山小> ・特にベテラン教員を中心に、主任希望の有無を面談において確認 → 次年度の校内人事に反映 ③ 実現可能な中期的目標の設定と短期プロジェクトの設置<芥子山小> ・プロジェクト主任に中堅教員を位置付け → ミドルリーダーの育成 ④ 組織づくりの目標に「学級担任の負担軽減」を組み入れ <邑久高> ・外部人材の活用・・・プロのライターによる自己推薦文の指導 ・担任2人制・・・合議によるクラス運営</p> <p>（成 果） ○ モチベーションを維持（駒感覚→指し手感覚）→精神的負担の軽減 ○ 担任業務の負担軽減</p>
4 事務長の配置による事務の効率化小	<p>（具体的取組） <岡山県教育委員会> ○ 小・中における事務の共同実施グループの拠点校に事務長を配置</p> <p>（成 果） ○ 総括者としての職務命令 → 迅速な改善策の実施 ○ 校内での事務の効率化（提案が容易に）</p>